



(イメージ)



～被災地に寄り添う復興支援～ 「東北ボランティアバスプロジェクト」

「神戸大学東北ボランティアバスプロジェクト」は、東日本大震災直後から、岩手県陸前高田市・釜石市・大槌町・山田町で被災者支援活動を行っています。年に数回、現地にバスで向かい、数日間滞在中で、復興や生活再建に直結する直接的支援から、戸別訪問や小中学生の学習支援、さらに行事の運営など地域交流の活性化へと幅広い活動に移り、2018年度までに延べ1,700人以上の神戸大学生が参加しました。

この継続的活動に対し、神戸大学基金から交通費補助額などを給付しています。



OB/OGと現役部員の熱き絆 体育会フィールドホッケー部

2019年度関西学生ホッケーリーグの春季リーグ戦で2部優勝を果たしたフィールドホッケー部。その躍進には、卒業生の温かいサポートがありました。

「1部、2部リーグの強豪校で人工芝グラウンドを持っていないのは本学くらい。後輩に我慢を強いるのはそろそろ終わりに。環境を整えるのも大きな応援」と語るのは、OB/OGと現役一体の組織『六甲台ホッケークラブ』副会長の元田裕介さん（1993年3月経済学部卒業）。サポート構想から4年経った2018年に六甲台グラウンドの一部人工芝化プロジェクトを立ち上げると、1年で全国約200人の先輩から多額の寄附が集まりました。

2019年7月に新主将に就いた松田正治さん（2017年法学部入学）は、「来年春のシーズン開始時には、念願の人工芝での練習ができます。これまで遠隔地まで赴いて練習場を借りたり、実戦での技術習得が難しかったりといった苦労がありました。今後は充実した練習ができ励みになります」と話します。整った環境で、宿願である1部リーグ昇格が期待できそうです。

